



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社ブシロード 上場取引所 東
 コード番号 7803 URL <https://bushiroad.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木谷 高明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長 (氏名) 村岡 敏行 TEL 03 (4500) 4350
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	35,156	21.1	2,037	3.5	2,689	△16.2	1,243	△38.9
2022年6月期第3四半期	29,023	-	1,967	-	3,208	-	2,033	-

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 1,036百万円 (△51.8%) 2022年6月期第3四半期 2,148百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	17.66	17.20
2022年6月期第3四半期	31.85	29.29

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	45,815	21,112	44.4
2022年6月期	43,721	16,192	35.6

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 20,362百万円 2022年6月期 15,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	-	0.00	-	9.00	9.00
2023年6月期	-	0.00	-	-	-
2023年6月期（予想）	-	-	-	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年6月期の配当金は、当該株式分割前の金額であります。これを仮に当該株式分割後に換算しますと、年間配当金は4円50銭になります。

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	19.1	3,500	3.2	3,500	△31.5	2,300	△34.4	32.67

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年6月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	71,208,550株	2022年6月期	68,134,780株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	-株	2022年6月期	3,320,430株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	70,395,007株	2022年6月期3Q	63,848,149株

（注）当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明内容の入手方法）

2023年5月18日（木）15時30分以降、当社ウェブサイトにて動画配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、行動制限の緩和等により社会経済活動が正常化に向かう動きは見受けられるものの、世界的なインフレや金融引締めから海外景気が下振れするリスクがあり、国内景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループはIPディベロッパー戦略をさらに加速し、グローバル展開とIP創出体制の構築に注力してまいりました。2023年3月に「2023 Bushiroad Expo Asia」 in Hong Kongを開催、現地のユーザーのみならずショップ・ディベロッパーの方々を招いた大規模なイベントを開催し、ブシロードの存在感をアピールしました。「2023 Bushiroad Expo Asia」はこの後もアジア5都市で開催予定です。また、同月に開催された「AnimeJapan 2023」へも出展しており、15周年を迎えたTCG（トレーディングカードゲーム）「ヴァイスシュヴァルツ」と、2022年11月にスタートした「ヴァイスシュヴァルツブラウ」のカード展示を行いました。

なお、2023年4月25日付の当社リリース「フィットネスクラブ事業からの撤退に伴う連結子会社における会社分割（新設分割）及び新設会社株式の譲渡並びに特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、当社グループは2023年6月期をもってフィットネスクラブ事業から撤退することを決定しております。また、同日付の「当社連結子会社の会社分割（新設分割）による子会社設立に関するお知らせ」においてIP創出を主目的とした新会社「ブシロードワークス」を2023年7月に設立することを決定し、IP創出の質・量ともにさらに向上させていくことを目指します。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高35,156,482千円（前年同四半期比21.1%増）、営業利益2,037,185千円（前年同四半期比3.5%増）、経常利益2,689,645千円（前年同四半期比16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,243,226千円（前年同四半期比38.9%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメント売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、下記の通り報告セグメントを変更しており、前年同期の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

- FY22まで -

デジタルIP事業	
TCG部門 ※BI含む	
ゲーム部門 ※BI含む	
MD部門	
メディア部門	
出版編集	
広告代理店	

ライブIP事業	
音楽部門	
スポーツ部門	

※BI…Bushiroad International Pte.Ltd.

- FY23以降 -

エンターテインメント事業	
TCGユニット	(BIユニット)
デジタルコンテンツユニット	
ライブエンタメユニット	
MDユニット	
MD	
出版編集	
アドユニット	

スポーツ&ヘルスケア事業	
スポーツ&ヘルスケアユニット	

1. エンターテインメント事業

①TCG（トレーディングカードゲーム）ユニット

「ヴァイスシュヴァルツ」は2023年3月に15周年を迎え、長い歴史を持つキャラクターカードゲームとして確固たる地位を確立しつつあります。当四半期には「ヘブンバーンズレッド」「ホロライブプロダクション Vol.2」など6つ、「Reバース for you」では「東方Project vol.2」など4つの大型カード商品を発売いたしました。「カードファイト!! ヴァンガード」では大型商品を1つ、「Shadowverse EVOLVE（シャドウバース エボルヴ）」では1つの大型カード商品を発売いたしました。「ヴァイスシュヴァルツブラウ」では「ちいかわ」「すとぷり」など4つの大型商品を発売いたしました。

TCGの市場は2022年度に続き大きく拡大しております。当社商品の売れ行きも国内外ともに好調であるため、TCGユニット売上としては前年同期よりも大きく伸長しておりますが、前期第4四半期や当期第1四半期よりも大型カード商品の発売が少なく、前四半期対比では同水準での推移となりました。

②デジタルコンテンツユニット

モバイルゲームでは「バンドリ！ ガールズバンドパーティ！」がリリース6周年を迎え、多岐に渡る追加や変更が行われる超大型アップデートを実施いたしました。一方で「ラブライブ！ スクールアイドルフェスティバル」がサービス終了する中、「ラブライブ！ スクールアイドルフェスティバル2 MIRACLE LIVE！」の2023年4月リリース

を発表いたしました。

コンソールゲームは新規のタイトルリリースは無かったものの、「カードファイト!! ヴァンガード ディアデイズ」では追加ダウンロードコンテンツが発売されました。

モバイルゲームは既存タイトルの見直しを実施しコンテンツの再燃や、新規タイトルリリースに備えるとともに、コンソールゲームは、非運営型のゲームでありながら各種コンテンツのダウンロード販売が継続していくことが期待されます。

③BI (Bushiroad International) ユニット

BIユニットはTCGユニットとデジタルコンテンツユニットに重複して属しております。

英語版「ヴァイスシュヴァルツ」では、「Kaguya-sama: Love Is War?」や「Date A Live Vol.2」などを発売いたしました。英語版「カードファイト!! ヴァンガード」では2つの大型カード商品が発売いたしました。また英語版「Shadowverse EVOLVE (シャドウバース エボルヴ)」の2023年6月リリースが決定いたしました。

デジタルコンテンツにおいては各タイトル堅調に推移し、英語版「バンドリ! ガールズバンドパーティ!」は実装曲数が累計400曲を突破いたしました。

④ライブエンタメユニット

㈱ブシロードミュージックでは、2月4日(土)・5日(日)に有明アリーナにて「BanG Dream! 11th☆LIVE」や、舞台「少女☆歌劇 レヴュースタァライト -The LIVE-#4 Climax」など、ライブやイベントを多数開催しました。一方、パッケージ商品においては、当初の計画から一部スケジュールの変更が生じたため、軟調な結果となりました。

㈱劇団飛行船では、開催中止となった公演もあり、当第3四半期においては軟調な結果となりました。一昨年取得したイベントホール「飛行船シアター」の利用は前四半期に続き増加傾向にあります。

⑤MD (マーチャンダイジング) ユニット

MDについては、「ブルーロック」や「モブサイコ100」などの催事事業が好調であったものの、第2四半期に続き利益率の低い製品の販売ペースを落とす対応を行っており、依然として売上は軟調に推移しております。一方で、出版編集については、TCGに関連する書籍や雑誌の販売が好調に推移するなど、ユニット間での連携が効果的に働きました。

「Wonder Festival 2023 Winter」や「ジャパンアミューズメントエキスポ2023」に出展し、来期より展開するフィギュアブランド「PalVerse (パルバース)」と商品化作品の発表を行うなど、今後の事業回復・拡大に向けた下準備に取り組みしました。

⑥アドユニット

㈱ブシロードムーブでは、代理店事業として、VTuber事務所「ホロライブプロダクション」の大型イベント『hololive SUPER EXPO 2023』の運営・制作協力、アジア最大規模のアウトドア・レジャーイベント『ジャパンキャンピングカーショー2023』の実行委員会を担当するなど、複数のイベントに携わり好調に推移しました。

また、声優が出演するリアルイベントや音楽ライブ等の開催が活発化していることを受け、声優事務所「響」に所属する声優の稼働も増加いたしました。

これらの結果、エンターテインメント事業は、売上高29,983,493千円(前年同四半期比20.0%増)、セグメント利益1,880,304千円(前年同四半期比10.3%減)となりました。

2. スポーツ&ヘルスケア事業

新日本プロレスリング㈱では2023年1月4日に「アントニオ猪木追悼大会 WRESTLE KINGDOM 17 in 東京ドーム〜闘魂よ、永遠に〜」を開催、前年同日に東京ドームで開催した大会の2倍の観客を動員し、当第3四半期連結累計期間の売上高及び営業利益に大きく貢献いたしました。新日本プロレス・スターダムが開催する各大会の観客動員数は、イベント会場の制限緩和も手伝い、引き続き増加傾向にあります。一方で、北海道を中心にフィットネスクラブを運営する㈱ブシロードウェルビー単体としてはエネルギー価格高騰の影響で運営コストが膨らみ、営業損失が拡大しました。

これらの結果、スポーツ&ヘルスケア事業は、売上高5,172,988千円(前年同四半期比28.2%増)、セグメント利益156,880千円(前年同四半期はセグメント損失127,927千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は45,815,558千円となり、前連結会計年度末に比べ2,094,545千円増加致しました。これは主に投資有価証券が1,939,696千円増加したことによるものです。

また、減損損失を計上したことにより有形固定資産が318,560千円及び無形固定資産が1,511千円減少しております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は24,703,369千円となり、前連結会計年度末に比べ2,824,825千円減少致しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が100,627千円、1年内償還予定の社債が400,000千円、長期借入金が438,001千円、社債が1,400,000千円増加した一方で、転換社債型新株予約権付社債が4,000,000千円、未払法人税等が1,045,830千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は21,112,189千円となり、前連結会計年度末に比べ4,919,370千円増加致しました。これは主に配当金の支払いにより利益剰余金が291,664千円減少した一方で、転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ2,000,000千円、新株予約権（ストック・オプション）の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ26,706千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,243,226千円増加したことによるものです。

また自己株式の消却により利益剰余金が2,325,717千円減少し、自己株式が2,325,717千円減少（株主資本の増加）しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中期4ヵ年経営計画初年度の当期は、ユニット制組織の立ち上げ・グローバル人材の更なる開発・ゲーム開発投資など、仕込みの年と位置付けております。第3四半期以降、海外を含むTCGユニットは四半期により凹凸ありますが好調に推移することを見込んでおり、デジタルコンテンツユニットはゲーム開発の先行投資を継続させるとともに、2023年3月の「バンドリ！ガールズバンドパーティ！」の超大型アップデート等で巻き返しを図ります。また国内で声出しイベントが可能になるなどコロナによる規制緩和が進んできており、各ユニットで複数の大型イベントを計画して動員の増加を見込んでおります。これらによって、2023年6月期におけるグループ全体の売上高は50,000,000千円（前期比19.1%増）、営業利益は3,500,000千円（前期比3.2%増）、経常利益は3,500,000千円（前期比31.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,300,000千円（前期比34.4%減）と期初通りで予想しております。

(注)業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,605,682	25,899,371
売掛金	5,404,326	5,139,494
商品及び製品	817,622	1,104,138
仕掛品	2,285,643	2,281,195
貯蔵品	62,197	76,389
その他	1,899,805	2,338,686
貸倒引当金	△79,000	△94,025
流動資産合計	36,996,276	36,745,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,245,448	1,126,765
工具、器具及び備品(純額)	148,275	129,400
車両運搬具(純額)	21,019	46,881
土地	1,135,220	1,027,220
リース資産(純額)	14,800	16,787
その他(純額)	227,050	136,338
有形固定資産合計	2,791,815	2,483,394
無形固定資産		
ソフトウェア	122,190	369,776
ソフトウェア仮勘定	2,400	332,740
のれん	2,447	1,687
その他	106,199	119,893
無形固定資産合計	233,237	824,098
投資その他の資産		
投資有価証券	2,283,224	4,222,920
長期貸付金	42,980	38,780
繰延税金資産	884,183	948,577
その他	518,244	568,570
貸倒引当金	△29,036	△27,915
投資その他の資産合計	3,699,595	5,750,933
固定資産合計	6,724,648	9,058,426
繰延資産		
株式交付費	87	11,880
繰延資産合計	87	11,880
資産合計	43,721,012	45,815,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,794,497	5,808,119
未払金	1,293,368	1,289,803
未払法人税等	1,607,154	561,324
1年内返済予定の長期借入金	4,346,829	4,447,456
1年内償還予定の社債	—	400,000
賞与引当金	183,212	173,583
その他	1,746,689	1,720,495
流動負債合計	14,971,750	14,400,782
固定負債		
長期借入金	8,165,322	8,603,323
社債	—	1,400,000
転換社債型新株予約権付社債	4,000,000	—
役員退職慰労引当金	74,900	85,809
退職給付に係る負債	94,630	112,570
繰延税金負債	84,250	3,734
その他	137,340	97,148
固定負債合計	12,556,443	10,302,586
負債合計	27,528,194	24,703,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,728,723	5,755,429
資本剰余金	3,665,493	5,692,199
利益剰余金	9,909,179	8,535,024
自己株式	△2,325,258	—
株主資本合計	14,978,138	19,982,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△130,465	△246,893
為替換算調整勘定	733,245	627,055
その他の包括利益累計額合計	602,780	380,162
新株予約権	—	121,465
非支配株主持分	611,899	627,907
純資産合計	16,192,818	21,112,189
負債純資産合計	43,721,012	45,815,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	29,023,655	35,156,482
売上原価	18,950,996	23,425,297
売上総利益	10,072,659	11,731,184
販売費及び一般管理費	8,104,761	9,693,999
営業利益	1,967,898	2,037,185
営業外収益		
受取利息及び配当金	15,026	150,479
持分法による投資利益	31,639	—
為替差益	251,515	—
助成金収入	1,001,504	642,383
その他	25,976	9,971
営業外収益合計	1,325,662	802,833
営業外費用		
支払利息	46,894	61,642
社債利息	—	1,320
持分法による投資損失	—	1,480
為替差損	—	60,299
社債発行費	—	18,306
その他	37,745	7,323
営業外費用合計	84,639	150,373
経常利益	3,208,920	2,689,645
特別損失		
関係会社株式評価損	—	82,031
減損損失	※ 149,366	※ 320,071
特別損失合計	149,366	402,103
税金等調整前四半期純利益	3,059,554	2,287,542
法人税等	1,065,053	1,028,392
四半期純利益	1,994,500	1,259,149
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,190	15,923
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,033,691	1,243,226

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,994,500	1,259,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△133,957	△116,427
為替換算調整勘定	287,528	△108,633
持分法適用会社に対する持分相当額	531	2,527
その他の包括利益合計	154,102	△222,533
四半期包括利益	2,148,602	1,036,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,186,773	1,020,608
非支配株主に係る四半期包括利益	△38,170	16,007

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,000,000千円増加し、新株予約権（ストック・オプション）の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ26,706千円増加しております。

また、当社は、2022年8月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の消却を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、消却により利益剰余金が2,325,717千円減少し、自己株式が2,325,717千円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式はゼロとなっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

当第3四半期連結累計期間において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(1) 減損損失を認識した資産

場所	用途	種類	減損損失
東京都中野区 (株)フロントウイングラボ)	その他	のれん	149,366千円

当社グループは、原則として継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基準としてグルーピングを行っております。

(株)フロントウイングラボの行うアニメーション制作及びプロデュース業において、市場環境の変化に伴い事業の方針を見直すとともに事業計画の変更を行ったため、減損の兆候があると認められました。変更後の事業計画及び成長率の実現可能性を検討した結果、減損損失の認識が必要とされたため、減損損失を計上しております。なお、回収可能価額は将来の不確実性を慎重に検討した結果、回収可能価額をゼロとして評価しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

当第3四半期連結累計期間において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(1) 減損損失を認識した資産

場所	用途	種類	減損損失
関東	フィットネスクラブ運営	建物、器具	45,654千円
北海道	フィットネスクラブ運営	土地、建物、器具等	274,417千円

当社グループは、原則として継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基準としてグルーピングを行っております。

当社グループはIPを軸にアニメ、ゲーム、音楽、イベント、MDなど様々な事業展開を行うIPディベロッパーを基本戦略としており、グループのさらなるサービス拡充の為、2020年2月に北海道を中心にフィットネスクラブ事業（以下、「本事業」）を展開する(株)ブシロードウェルビー（2020年2月当時の商号は(株)ソプラティコ。2022年4月1日付で商号変更。）を連結子会社化いたしました。しかし、連結子会社化直後からの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、フィットネスクラブの会員数は大きく減少、さらにエネルギー価格の高騰による運営コスト増加の影響もあり、本事業は減益となりました。2023年1月には同じく当社グループ会社である新日本プロレスリング(株)と共同開発した「新日本プロテイン」を発売するなど、ヘルスケア事業の立ち上げにも取り組んでおりますが、本事業全体としては依然として買収前に当社が想定していた事業計画との乖離が大きい状況です。当社はこのような状況を踏まえ、事業ポートフォリオ最適化の一環として、本事業からの撤退を決定、本事業を会社分割（新設分割）により新設会社に承継させううえで、新設会社の全株式を現(株)ブシロードウェルビー代表取締役社長である大場隆志氏に譲渡することといたしました。

この結果、(株)ブシロードウェルビーが行う本事業は減損の兆候があると認められました。

回収可能価額は資産に関する正味売却可能価額で算定することとしております。なお、土地・建物といった不動産は、立地及びフィットネスジムに特化した構造物という性質上、有姿での売却の実現可能性は低いこと、更地化見込み費用が土地の時価を上回っていることから、回収可能価額をゼロとして評価しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	エンターテイメント事業	スポーツ&ヘル スケア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,989,377	4,034,277	29,023,655	—	29,023,655
セグメント間の内部売上高又は 振替高	24,611	124,863	149,474	△149,474	—
計	25,013,988	4,159,141	29,173,129	△149,474	29,023,655
セグメント利益又は損失(△)	2,095,825	△127,927	1,967,898	—	1,967,898

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

エンターテイメント事業において、のれんの減損損失149,366千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「固定資産に係る重要な減損損失」に記載の通り、エンターテイメント事業においてのれんの減損を行ったことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	エンターテイメント事業	スポーツ&ヘル スケア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,983,493	5,172,988	35,156,482	—	35,156,482
セグメント間の内部売上高又は 振替高	26,902	162,599	189,502	△189,502	—
計	30,010,396	5,335,587	35,345,984	△189,502	35,156,482
セグメント利益又	1,880,304	156,880	2,037,185	—	2,037,185

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、セグメント情報における報告セグメントについては、「デジタルIP」及び「ライブIP」の2つの事業別のセグメントとしておりましたが、2023年6月期から当社グループにおけるユニット制導入に伴う内部報告管理体制の変更及び2023年6月期を初年度とする中期経営計画の遂行にあたり、今後の事業展開を踏まえ合理的な区分の検討を行った結果、第1四半期連結会計期間より、従来「ライブIP」事業に含めておりましたスポーツ&ヘルスケア本部(2022年7月1日より「スポーツ&ヘルスケアユニット」に変更)を「スポーツ&ヘルスケア」事業として区分表示いたします。

また、スポーツ&ヘルスケア本部を除いた事業を「エンターテイメント」事業へ変更いたします。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

スポーツ&ヘルスケア事業において、減損損失320,071千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり四半期純利益	31円85銭	17円66銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,033,691	1,243,226
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,033,691	1,243,226
普通株式の期中平均株式数(株)	63,848,149	70,395,007
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	29円29銭	17円20銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額	—	—
普通株式増加数(株)	5,589,094	1,907,447
(うち新株予約権)	(5,589,094)	(1,907,447)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（重要な後発事象）

（株式会社ブシロードウェルビーにかかる会社分割）

当社は2023年4月25日開催の取締役会において、以下の通り、連結子会社である株式会社ブシロードウェルビー（以下、「ブシロードウェルビー」）のフィットネスクラブ事業（以下、「本事業」）を会社分割（新設分割）（以下、「本会社分割」）により新設会社に承継させた上で、新設会社の株式の100%を現ブシロードウェルビー代表取締役社長である大場隆志氏に譲渡（以下、「本株式譲渡」）することで本事業から撤退することを決議いたしました

1. 目的

当社グループはIPを軸にアニメ、ゲーム、音楽、イベント、MDなど様々な事業展開を行うIPディベロッパーを基本戦略としており、グループのさらなるサービス拡充の為、2020年2月に北海道を中心にフィットネスクラブを展開するブシロードウェルビー（2020年2月当時の商号は株式会社ソプラティコ。2022年4月1日付で商号変更。）を連結子会社化いたしました。

しかし、連結子会社化直後からの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、フィットネスクラブの会員数は大きく減少、さらにエネルギー価格の高騰による運営コスト増加の影響もあり、本事業は減益となりました。2023年1月には同じく当社グループ会社である新日本プロレスリング株式会社と共同開発した「新日本プロテイン」を発売するなど、ヘルスケア事業の立ち上げにも取り組んでおりますが、本事業全体としては依然として買収前に当社が想定していた事業計画との乖離が大きい状況です。

当社はこのような状況を踏まえ、事業ポートフォリオ最適化の一環として、本事業からの撤退を決定、本事業を会社分割（新設分割）により新設会社に承継させたうえで、新設会社の全株式を現ブシロードウェルビー代表取締役社長である大場隆志氏に譲渡することといたしました。

このたびの決定にあたって様々な可能性を多面的に検討してまいりましたが、本事業については買収以前から経営を担っている大場氏への株式譲渡により、上場会社である当社グループから離れ、同氏の得意とする地域密着型のサービスを強化する形での発展を図ること、また、新規事業として取り組んでいるヘルスケア事業については、当社グループの他事業との連携を強めて発展を図ることが、各事業の長期的な成長を目指すうえで最善であると判断するに至りました。

2. 本会社分割および新設会社の株式譲渡について

(1) 本会社分割および株式譲渡の日程

当社取締役会決議日	2023年4月25日
ブシロードウェルビー株主総会決議日	2023年6月20日（予定）
新設分割効力発生日	2023年6月30日（予定）
株式譲渡契約締結日	2023年6月30日（予定）
株式譲渡実行日	2023年6月30日（予定）

(2) 本会社分割の方式

ブシロードウェルビーを分割会社とし、新設会社を承継会社とする新設分割です。

(3) 分割に係る割り当ての内容

新設会社は本会社分割に際して普通株式200株を発行し、その全てを分割会社であるブシロードウェルビーに割当交付いたします。分割会社は本会社分割の効力発生日と同日付で当該株式の全てを大場隆志氏に譲渡いたします。

なお、譲渡対価は相手方の意向を踏まえ記載しておりませんが、相手方と協議の上決定したものであり、当社取締役会において公正かつ妥当と判断しております。

(4) 本会社分割に伴う新株予約権に関する扱い

該当事項はありません。

(5) 本会社分割により増減する資本金

本会社分割によるブシロードウェルビーの資本金の増減はありません。

(6) 新設会社が承継する権利義務

新設会社は、新設分割契約書に定める範囲において、本事業に関する資産、負債及びこれらに付随する権利義務等を承継します。

(7) 債務履行の見込み

新設会社は、本会社分割において負担すべき債務について履行の見込みに問題はないものと判断しております。

(8) 本会社分割の当事会社の概要

		分割会社 (2023年4月25日現在)	新設会社 (2023年6月30日設立予定)
(1)	名称	株式会社ブシロードウェルビー	株式会社ソプラティコ
(2)	所在地	東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル4階	北海道小樽市花園4-17-3
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大場隆志 (2023年6月30日付で退任予定)	代表取締役社長 大場隆志
(4)	事業内容	フィットネスクラブ事業 ヘルスケア事業	フィットネスクラブ事業
(5)	資本金	10,000千円	10,000千円
(6)	設立年月日	2004年10月7日	2023年6月30日(予定)
(7)	発行済株式数	200株	200株
(8)	決算期	6月30日	3月31日
(9)	大株主及び持ち株比率	株式会社ブシロード 100%	(設立時) 株式会社ブシロードウェルビー 100% (株式譲渡後) 大場隆志 100%
(10)	上場会社と当該会社との関係	(資本関係) 当社100%出資子会社であります。	(資本関係) 本会社分割の効力発生日に分割会社が新設会社の株式の100%を保有しますが、同日付で当該株式の全てを大場隆志氏に譲渡いたします。
		(人的関係) 当社の従業員2名が当該会社の取締役を兼務しております。	(人的関係) 予定している該当事項はありません。
		(取引関係) 該当事項はありません。	(取引関係) 予定している該当事項はありません。
		(関連当事者への該当事項) 当該会社は当社の100%出資子会社であり、関連当事者に該当いたしません。	(関連当事者への該当事項) 株式譲渡後は新設会社は当社の関連当事者には該当しませんが、当株式譲渡取引は当社子会社代表取締役である大場氏との取引であるため関連当事者取引に該当します。

(9) 分割会社の直前事業年度の財政状態及び経営成績

	2022年6月期
純 資 産	△286,208千円
総 資 産	520,311千円
1株当たり純資産	△1,431千円
売上高	474,010千円
営業利益(損失)	△82,584千円
経常利益(損失)	△37,776千円
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)	△91,139千円
1株当たり当期純損失	△455千円

(10) 分割する事業部門の概要

① 分割する部門の事業内容

フィットネスクラブ事業

② 分割する事業の経営成績

売上高 474,010千円 (2022年6月期)

(注) ブシロードウェルビーのフィットネスクラブ事業の2022年6月期の売上高は474,010千円ですが、2023年6月下旬をもって一部店舗を閉店することを予定しており、営業を継続する店舗の事業を分割いたします。なお、営業を継続する店舗における2022年6月期の売上高は388,661千円となります。

③ 分割する資産、負債の項目及び金額 (2023年3月末現在)

資産の部		負債の部	
流動資産	76,398千円	流動負債	7,600千円
固定資産	18,853千円	固定負債	0千円
合計	95,251千円	合計	7,600千円

(注) 上記は2023年3月末時点の数値を元にしておりますので、実際に分割する金額とは異なることがあります。

(11) 分割後の当事会社の状況

本会社分割後のブシロードウェルビーの名称、所在地、資本金、決算期の変更はありません。その他、新設会社の商号、所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期については「2. (8) 本会社分割の当事会社の概要」をご参照ください。

(12) 新設会社の株式譲渡の概要

① 株式譲渡の相手先の概要

氏名	大場 隆志
住所	北海道小樽市
上場会社と当該個人の関係	株式譲渡先である大場隆志氏は本第3四半期決算短信提出日時点では当社連結子会社の代表取締役であります が、2023年6月30日付で退任予定です。

② 譲渡株式数及び譲渡前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	200株 (議決権所有割合: 100%)
譲渡株式数	200株 (議決権所有割合: 100%)
異動後の所有株式数	0株 (議決権所有割合: 0%)

（株式会社ブシロードクリエイティブにかかる会社分割）

当社は、2023年4月25日開催取締役会において、当社連結子会社である株式会社ブシロードクリエイティブ（以下、ブシロードクリエイティブ）の事業の一部を会社分割（新設分割）し、新設する株式会社ブシロードワークス（以下、ブシロードワークス）に承継するとともに、ブシロードワークスを当社の100%子会社とすることについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 本新設分割及び当社子会社化の目的

当社グループはIPを軸にアニメ、ゲーム、音楽、イベント、MD など様々な事業展開を行うIPディベロッパーを基本戦略とし、2022年8月に公開した中期経営計画においては、IPディベロッパー2.0「Global Mega Character Platform戦略」を打ち出し、IPプラットフォームとして世界的に展開を広げ、IPへの接点の多様化とグローバルな顧客開拓に努めております。本戦略の遂行に当たってIP創出の重要性がさらに高まっており、新設会社に新規IPの創出に特化する人的資源を集中的に投入することにより、IP創出を量・質ともに向上させ、新規IPの創出により一層力を入れていくための体制を整えることを目的としております。

2. 本会社分割の要旨

（1）会社分割及び当社子会社化の日程

新設分割計画承認取締役会	2023年4月25日
新設分割計画承認臨時株主総会	2023年6月20日（予定）
新設分割及び当社子会社化効力発生日	2023年7月3日（予定）

（2）本会社分割の方式

本会社分割は、ブシロードクリエイティブを分割会社とし、新設会社であるブシロードワークスを承継会社とする新設分割であります。

（3）本会社分割に係る割当の内容

本新設分割に際して、新設会社となるブシロードワークスは普通株式900株を発行し、それら全ての株式を分割会社であるブシロードクリエイティブに割当交付いたします。なお、ブシロードクリエイティブは、これと同時に割当てられた全株式を剰余金の配当として100%親会社である当社に対して交付いたします。

（4）本会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

（5）本新設分割により増減する資本金

本新設分割による当社の資本金の増減はありません。

（6）新設会社が承継する権利義務

新設会社であるブシロードワークスは、効力発生日において、分割会社であるブシロードクリエイティブの本件分割の対象となる事業に係る資産、負債、契約上の地位その他これに付随する権利義務を承継いたします。

（7）債務履行の見込み

本分割後におけるブシロードクリエイティブ及びブシロードワークスの債務履行の見込みについては、問題はないものと判断しております。

3. 本新設分割の当事会社の概要

		分割会社 (2023年4月25日現在)	新設会社 (2023年7月3日設立予定)
(1)	名 称	株式会社ブシロードクリエイティブ	株式会社ブシロードワークス
(2)	所 在 地	東京都中野区中央一丁目38番1号	東京都中野区中央一丁目38番1号
(3)	事 業 内 容	グッズの企画・製造・販売	知的財産権（IP）の創出 雑誌・書籍の出版 コミックWEBサイトの企画・運営
(4)	資 本 金	49,000千円	9,000千円
(5)	設 立 年 月 日	2015年2月27日	2023年7月3日
(6)	発 行 済 株 式 数	1,780株	900株
(7)	決 算 期	6月30日	6月30日
(8)	大株主及び持株比率	株式会社ブシロード 100%	株式会社ブシロード 100%

4. 本新設分割後の状況

本新設分割によるブシロードクリエイティブの名称、所在地、事業内容、資本金、決算期の変更はありません。